

伊集院保健所感染症情報

2025年第8週（令和7年2月17日～令和7年2月23日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第5週	第6週	第7週	第8週	先週からの増減	第7週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	2.00	0.80	0.80	2.00	↗	1.74	↘
COVID-19	—	—	—	5.20	2.80	5.20	2.00	↘	3.56	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	1.33	0.67	0.33	1.00	↗	1.00	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	2.33	2.33	2.67	3.67	↗	2.78	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	5.00	3.00	7.67	11.67	↗	11.68	↗
水痘	2	1	1	0.00	3.00	0.00	0.00	→	0.18	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.12	↘
突発性発しん	—	—	—	0.33	0.33	0.00	0.00	→	0.24	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.33	0.33	1.67	2.33	↗	0.98	↗
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC 感染症集団発生時の保健所への報告・相談について

高齢者、乳幼児、障害者等が集団で生活する社会福祉施設や介護老人保健施設等では、感染症発生時に感染が拡大しやすいことから、特に迅速で適切な対応が求められます。このような施設での集団発生を防止するため、社会福祉施設等で感染症が発生した場合には、保健所への報告をお願いしております。

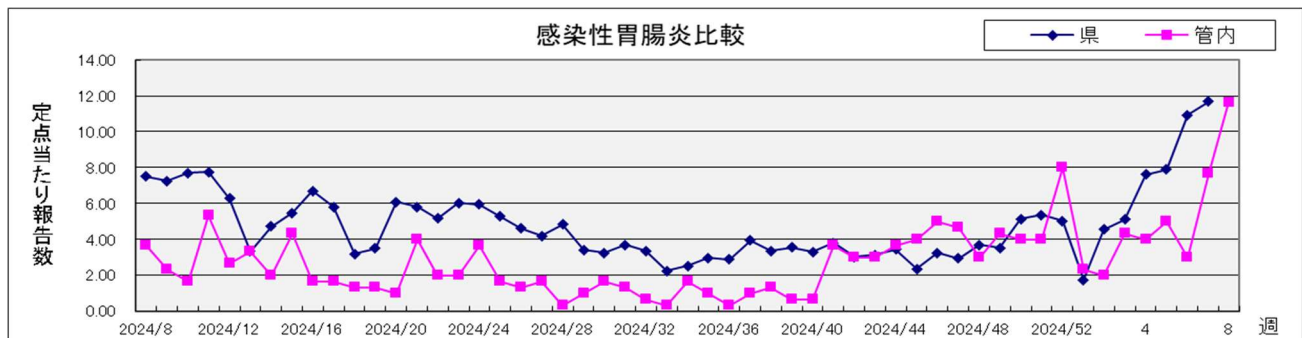
届け出の基準は下記 1～3 となっておりますが、これに満たない場合でも、相談したいことや気になることなどございましたら、お気軽に伊集院保健所（099-273-2332）までご連絡ください。



1. 同一の感染症若しくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が 1 週間以内に 2 名以上発生した場合
2. 同一の感染症若しくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が 10 名以上又は全利用者の半数以上発生した場合
3. 1 及び 2 に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合

● 注意すべき感染症

・ 感染性胃腸炎



第8週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の23人（定点当たり7.67）から12人多い35人（定点当たり11.67）でした。年齢別では、20歳以上（10人）、2歳（8人）、1歳（7人）、4歳以上（4人）、15～19歳（2人）、0～5ヶ月・6歳・9歳・10～14歳（各1人）の順に多い報告でした。

感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの病原体による感染症で、年間を通して流行します。

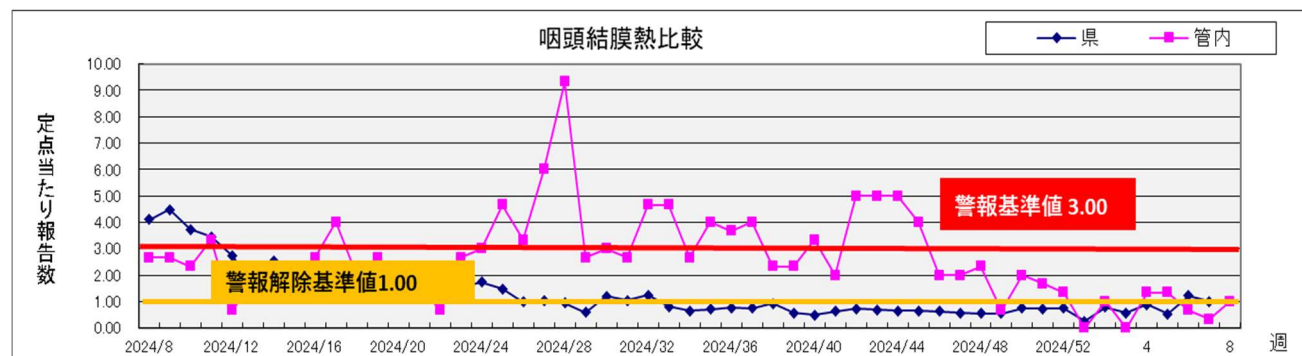
原因となる病原体には、ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスのほか、細菌や寄生虫などもあります。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。潜伏期間は1～3日程度です。ノロウイルスによる胃腸炎では、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛であり、有症期間は平均24～48時間です

感染予防としては、トイレの後、調理、食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、ノロウイルス等の便やおう吐物を処理する時は、次亜塩素酸ナトリウム液を用い、手袋、マスク、エプロンを着用し、処理しましょう。なお、カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

・ 咽頭結膜熱



第8週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の1人（定点当たり0.33）から2人多い3人（定点当たり1.00）でした。年齢別では、1歳（2人）、6歳（1人）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。

感染予防対策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 2/17～2/23（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

第8週の出席停止については、インフルエンザ患者が5人（内訳：非型別インフルエンザが4人、インフルエンザA型が1人）、感染性胃腸炎が2人、溶連菌感染症3人、マイコプラズマ感染症1人、COVID-19が1人報告されています。

疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナウイルス感染症
自治体名						
日置市	4	1	0	3	1	0
いちき串木野市	0	0	2	0	0	1
三島村	0	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0	0
計	4	1	2	3	1	1